

第1章 はじめに

1.1 共同研究の背景

横浜市と国立研究開発法人海洋研究開発機構（以下、JAMSTEC）は海洋に関する産業・研究・教育などの活動について連携を強化することにより、横浜経済の活性化や教育、市民生活の向上などに資することを目的として、平成 29 年9月に「地域活性化に関する包括連携協定（以下「協定）」を締結している。

この協定の対象分野の1つとして「都市環境の課題解決に関すること」が掲げられており、都市を対象とした気象シミュレーションなどを通じて、研究成果のまちづくりへの活用を推進していくとある。

横浜市環境創造局環境科学研究所（以下、環境科学研究所）では、都市の熱環境の把握と改善のため、市内 36 地点での気温観測や、公園及び公共施設などでの暑さ対策の効果検証などを実施している。一方で、暑さ対策の効果検証については実測調査の実績はありつつも、検証は局所的かつ事例ごとにとどまり、異なる気象条件下での影響など様々な観点からの検証が困難であった。このため、市域の他施設や地域での事前予測をもとにした事業推進などの水平展開につなげることが課題となっていた。

JAMSTEC は数値シミュレーションや解析技術に関する豊富な実績を有しているが、技術の活用機会を拡充していくため、数値シミュレーション結果と実際の現場での調査結果との比較検討など、活用事例を増やしていく機会を模索していた。

環境科学研究所と JAMSTEC が相互に連携することにより、それぞれのノウハウを活かし、市内の熱環境の改善に向けた取り組みを進めることができると考え、協定に基づき、2019 年 8 月に「横浜における都市の熱環境の改善に向けた研究」に関する覚書を締結し、以後 2023 年 3 月までの期間、共同研究を実施した。

1.2 共同研究の目的

暑さ対策の効果検証、検証結果の可視化、事業実施の際に活用できる暑さ対策効果の事前予測手法の確立など、横浜における都市の熱環境の改善に向けた研究を実施することを目的とする。

1.3 共同研究の実施期間

2019 年8月 15 日から 2023 年3月 31 日まで